

大学コンソーシアムひょうご神戸

ひょうご留学生インターンシップ

2023年度概要

■設立:

平成18年(2006年)6月12日 (平成28年4月1日 一般社団法人を設立)

■正会員:

39校(31大学、7短期大学・短期大学部、1高等専門学校)

4年制大学加盟率: 兵庫県下38校のうち31校 = 約81.6% ※令和元年学校基本調査より

学生数: 約10万人

■賛助会員: 35企業・団体

■特別会員: 1団体(独立行政法人 日本学生支援機構)

設立の主旨:

国際性を中核に、兵庫県の特徴を活かし教育水準の向上と地域振興に貢献

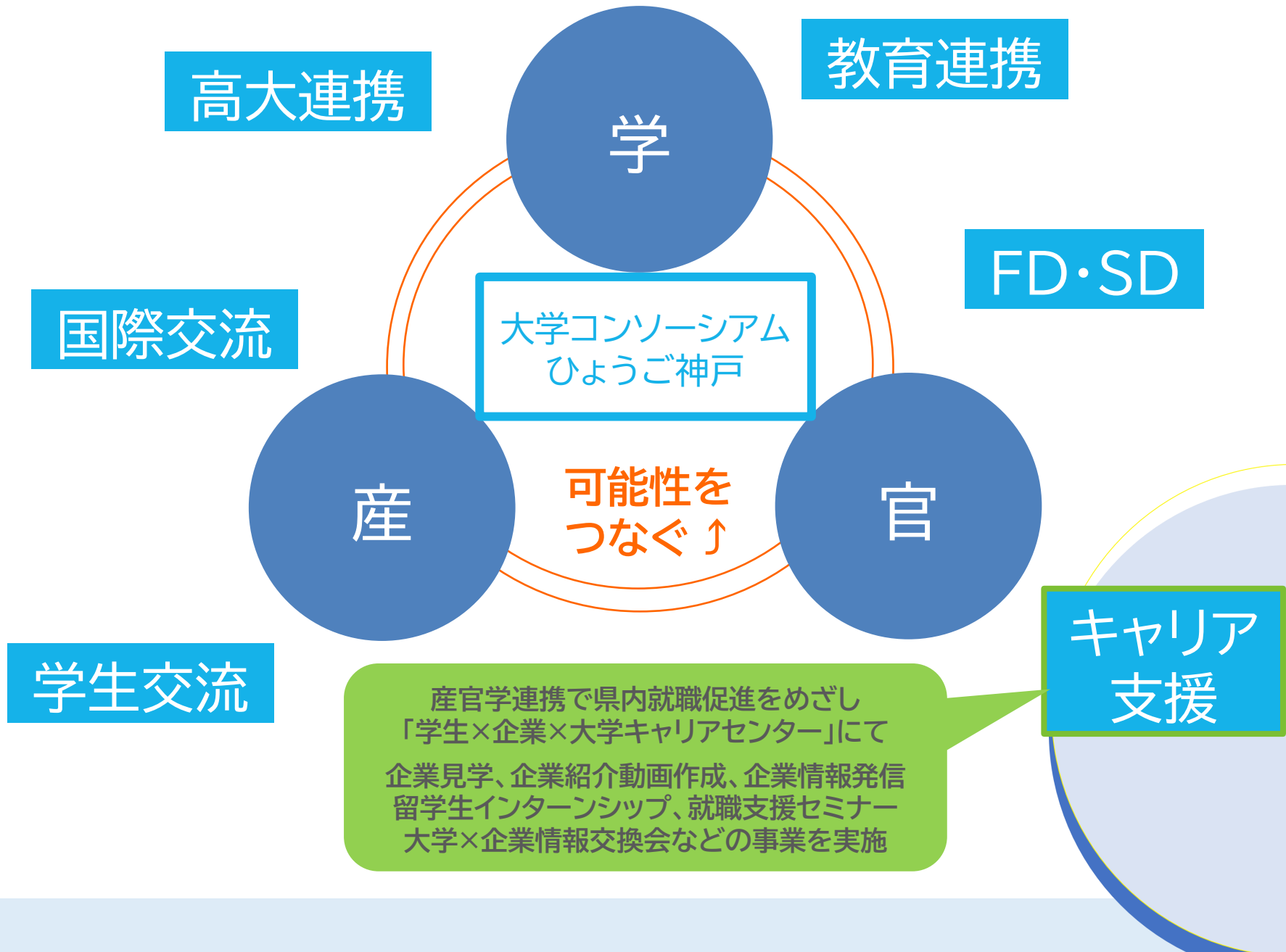
事業:

国際交流、学生交流、教育連携、高大連携、FD・SD、キャリア
6事業を中心に、大学間連携・産官学連携を展開

大学コンソーシアムひょうご神戸役員

■理事長	甲南大学	学長	中井 伊都子
■副理事長	神戸大学	学長	藤澤 正人
■理事	関西国際大学	学長	濱名 篤
	神戸学院大学	学長	中村 恵
	神戸市外国語大学	学長	田中 悟
	神戸親和大学	学長	三井 知代
	神戸常盤大学	学長	濱田 道夫
■監事	大手前短期大学	学長	福井 洋子
	神戸女学院大学	学長	中野 敬一
■参与	兵庫県知事		齋藤 元彦
	神戸市長		久元 喜造
	独立行政法人日本学生支援機構	理事長	吉岡 知哉





ひょうご留学生インターンシップについて

2008年度 文部科学省「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」採択を契機とし
終了後も自主事業として継続し、今年で15回目となる歴史あるプログラム

14年間で、受入企業総数83社、21大学から561名の留学生が参加

＜わたしたちの想い＞

- ・日本企業に就職を希望する優秀な留学生が県内企業で就職し、
県内企業発展に寄与する人財になってもらいたい！
- ・企業の経営者に、留学生の特性と日本企業で働きたいという
強い意欲をご理解いただき、留学生の採用に向けた支援を行いたい！

【目的】

- 1)兵庫県内の大学に在籍し、日本での就職を希望する留学生に、企業・団体等でのインターンシップを始めとしたキャリア形成支援に係る取組の機会を提供することで、日本企業理解の一助とし、就職のための支援を行う。
- 2)企業の経営者に留学生の特性と日本企業で働きたいという強い意欲をご理解いただき、留学生の採用に向けた支援を行う。
- 3)県内企業と大学が連携し、共に留学生を育て・活用する環境を作ることで、地域経済の活性化を担う高度外国人材の育成と定着をはかる。

ひょうご留学生インターンシップについて

外国籍社員を採用したい企業

【ニーズ】

- ・外国人を採用したいがよくわからない
- ・社内のグローバル化推進
- ・海外を視野に入れた事業展開
- ・採用までの決断がまだできていない
- ・外国人材を採用しなければ先行き不安
- ・外国人に自社をPRしたい
- ・大学と繋がりたい

【インターンシップ受入のメリット】

- ・優秀な外国籍人材との出会い
- ・外国籍人材と共に働くことを知る
- ・社員がグローバル社会を実感
- ・留学生が持つスキルや能力の活用
- ・海外への自社PR
- ・社員の意識改革、指導方法改善
- ・大学とのつながりができる

➡ 受入企業アンケート：
今後も受け入れたい(96%)

日本で働きたい留学生

【ニーズ】

- ・日本の就職活動は難しくわからない
- ・日本語やマナーに自信がない
- ・日本企業(県内企業)を知らない
- ・自分が役に立てるのか知りたい
- ・自分に合う企業に出会いたい
- ・仕事を通して成長したい

➡ 参加学生アンケート：
日本企業への理解が深まり、
将来に向けての目標設定ができた(98%)

【インターンシップ参加のメリット】

- ・日本の企業風土/マナーを知る
- ・日本企業/社会の人材ニーズを知る
- ・外国籍社員としての役割りを見出す
- ・県内中小企業と人の魅力を知る



留学生の所属大学

【ニーズ】

- ・留学生が日本企業への就活を理解し、効果的に準備をして欲しい
- ・企業に外国人留学生の志向や能力を知ってもらい、ミスマッチをなくしたい
- ・留学生採用意欲のある企業と繋がりたい
- ・企業と共に留学生を育てたい

産業界

【ニーズ】

- ・外国人採用ニーズが増えてきているが、どこにどう繋いだらいいかわからない
- ・慢性的な人手不足を、留学生の採用によって解消したい

地方自治体

【ニーズ】

- ・企業に外国人採用力を上げたい
- ・企業の受け入れ態勢強化をはかりたい

国

【ニーズ】

- ・外国人材を活用し社会課題の解決につなげたい
- ・三省合意インターンシップの認知・定着

ひょうご留学生 インターンシップ

県内企業と大学が連携し、共に留学生を育て・活躍できる環境を作ることで、
地域経済の活性化を担う高度外国人材の育成と定着をはかる

2022年度 ひょうご留学生インターンシップ 実施状況

■参加学生数、受入企業数

参加学生数	43名
参加大学数	8校
受入企業・団体数	22社
テーマ・就労体験型	6件/13名
就労体験型	17件/30名

所属大学	人数
芦屋大学	4名
関西学院大学	10名
神戸大学	10名
神戸学院大学	5名
神戸芸術工科大学	2名
神戸国際大学	4名
神戸親和女子大学	2名
流通科学大学	6名
合計	43名

性別	人数
男	16名
女	27名
合計	43名

参加学年	人数
1回生	0名
2回生	4名
3回生	23名
4回生	2名
修士1年生	11名
修士2年生	3名
合計	43名

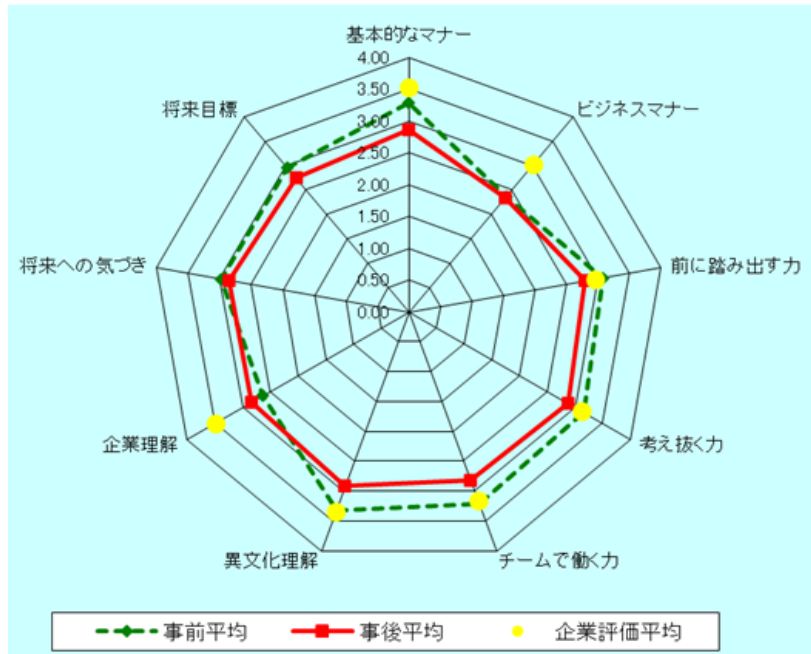
出身国・地域	人数
中国	22名
韓国	6名
ベトナム	6名
インドネシア	5名
台湾	2名
ロシア	1名
ネパール	1名
合計	43名

受入先		人数
テーマ・就労体験型	株式会社 TAT	3
	株式会社 JTB	1
	豊開発 株式会社	3
	センコー 株式会社	3
	白鶴酒造 株式会社	2
	株式会社 奥谷金網製作所	1
6社		13
就労体験型	株式会社 奥谷金網製作所	1
	株式会社 ユニックス	1
	バンドー化学 株式会社	1
	株式会社 千代田精機	1
	株式会社 大月真珠	4
	エパオン 株式会社	4
	情報セキュリティ 株式会社	4
	株式会社 みなと銀行	2
	株式会社 三洋航空サービス	1
	株式会社 ブレックス	3
	医療法人社団 星晶会	1
	一般社団法人 福祉心話会	2
	株式会社 ECC	1
	株式会社 学生情報センター	1
	公益財団法人 兵庫県国際交流協会	1
	株式会社 ベオスアイティーホールディングス	1
	一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸	1
17社		30
計22社 (*1社両型で実施)		43

2022年度 ひょうご留学生インターンシップ 実施状況

■プログラムの成果（留学生）

◆参加学生の自己評価(事前・事後)



◇参加学生アンケートより

*日本企業や日本で働くことについて参加前と比較して、

⇒理解できるようになった

・やや理解できるようになった(100%)

*留学生インターンシップに参加して良かった点

- ・日本企業・団体を知ることができた(92%)
- ・社会人として必要なマナーや敬語が学べた(62%)
- ・今後の学業や就職に向けての意欲が高まった(54%)
- ・他大学の留学生と知り合うことができた(51%)
- ・自分自身の適性や課題を知ることができた(35%)
- ・社会人と知り合うことができた(35%)

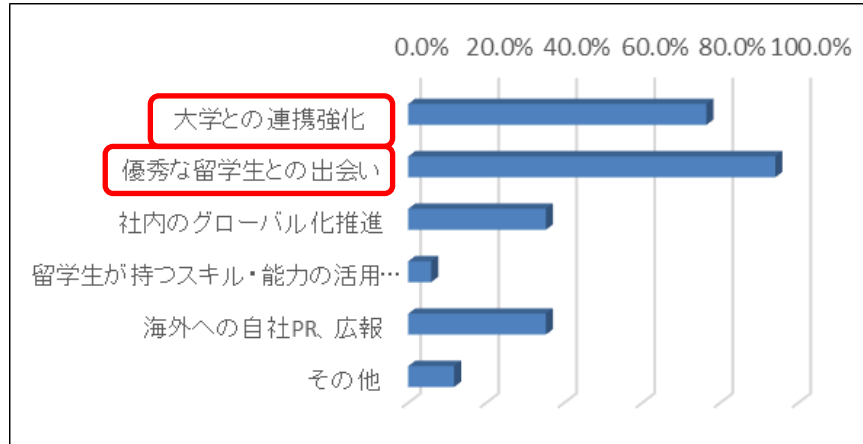
◆感想

- ・社内の雰囲気を知り、優しい方々に囲まれていて大変成長できたと感じます。お客様の生活を支援するためにさらに提供しているサービスを改善したいという気持ちが社員の方に見ることができました。社員の方々の会話や声かけなどもすごく素晴らしく大変勉強になりました。
- ・実習に参加して企業の方の仕事への気持ちを学びました。日本企業では短期間働くのではなく、その業界に熱意を持っているから何十年も働くのもおかしくないということがよくわかりました。
- ・日本人が大切にしているチームワークへの理解が深まった。仕事は一人でするのではなく、チームとして成果を出すということが理解できるようになった。
- ・ビジネスは面白いと思えるようになりやる気满满になりました。ただ内定を狙うだけでなく、これからの総合的な人生経路を考える気付きになりました。

2022年度 ひょうご留学生インターンシップ 実施状況

■プログラムの成果（受入企業）

◆留学生インターンシップ受け入れの理由・メリットと考えている点は？



【その他】

- ・社内に向けた受け入れ態勢の意識づけ
- ・社内の多様性情勢、ダイバーシティの推進
- ・社内の新たな刺激、教育機会

◆上記の項目について今回の留学生インターンシップは効果があったか？⇒効果があった(100%)

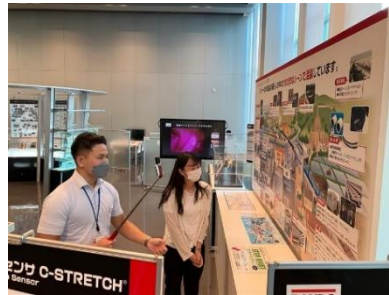
- ・昨年同様、留学生を受け入れることで海外事業部員は大いに刺激を受けることができました。海外取引先との商談を重ねることで、先方にも当社のグローバル事業に対する取り組み姿勢も示すことができましたと感じています。昨年のインターンシップ実習に参加してくれた学生が、選考に来てくれ、内定に繋がりました。
- ・実習報告会で名刺交換をした大学の方に弊社にお越しいただいた。今後連絡を取り両者のメリットにつなげたい。
- ・会社としてこういう人材も採用していくんだというメッセージを社内に発信できた。留学生や新卒採用に関する受け入れ態勢が徐々に意識づけられてきたことを感じている。
- ・弊社の文化にいい意味で染まっていない学生からの意見は、新たな風を吹き込んでくれた。
- ・現役の学生さんが何を求めているのか、外国の方がどれほど熱心に日本企業に興味を持ってるか等、相互に情報の共有ができた。
- ・直接の関連性がない分野を先行されている学生を受け入れ、自分たちも勉強になることが多かった。

◆次回以降のインターンシップ受け入れについて

受け入れる予定、または、条件が合えば受け入れたい(95%)

2022年度 ひょうご留学生インターンシップ 実施状況

■実習の様子



2023年度 ひょうご留学生インターンシップ 実施内容について

2023年度は下記のように
プログラム内容に変更がありますが
変わらず大切にしたいことは

▶ 「企業×留学生×大学」それぞれの可能性を広げる繋がりづくり

これまでより受入企業様と学生が関わる機会が増えることで、相互理解を深めた関係づくりをしていただけます

ひょうご留学生インターンシッププログラム（従来の流れ）

■出願票の提出

- ・コンソHPにWeb登録→出願票作成→キャリアセンターに提出
- ・キャリアセンターにて選抜→コンソへ推薦書類送付

□N1対策講座（対象者のみ）

■推薦学生ガイダンス

■推薦学生と企業の交流会

→ 参加後：実習先希望調査票の提出

■グループ面談

→ コンソにてマッチング → 実習先決定
・大学にて保険加入確認、企業-コンソ覚書締結

■ビジネスマナー研修

■オリエンテーション、目標設定

→ 目標設定シートの提出 → 添削

■事前訪問（スタッフ同行）

■インターンシップ実習（最終日発表にスタッフ同席）

→ 実習日誌・報告書 → 企業コメント
→ コンソに提出 → 添削

■インターンシップ報告会・留学生×企業交流会

■事後研修（企業×大学交流会）

→ 自己評価提出 → 修了証授与



2023年度ひょうご留学生インターンシッププログラム

ひょうご留学生インターンシップ説明会（複数回オンライン）

■学生出願

- ・コンソHPにWeb登録

■エントリー学生ガイダンス 6/6(火)

- ・インターンシップ参加心構え、目標設定等オリエンテーション

■エントリー学生×企業の交流会 6/10(土)

→ 企業：「兵庫県インターンシップシステム」に企業情報登録
学生：「兵庫県インターンシップシステム」にWeb登録
受入企業情報を確認し実習希望先にエントリー

○企業による受入可否判断

- ・選考結果通知（本人・大学） → 追加情報入力・実習日程調整
- ・大学にて保険加入確認
- ・コンソ-企業にて覚書締結

■学生：インターンシップスキルアップ講座に参加
（留学生向け日本語講座、ビジネスマナー講座など）

□学生：各所属大学での就活講座に参加推奨

■インターンシップ実習（各企業にて）

→ 実習日誌・報告書 → 企業コメント

■インターンシップ報告会・留学生×企業交流会

9/16(土)

→ 自己評価提出

エントリー

企業交流会

マッチング

事前研修

実習参加

企業交流
事後

2023年度 ひょうご留学生インターンシップ 実施要項

対象学生

大学コンソーシアムひょうご神戸の加盟校に在籍する外国人留学生
(学部3年生・大学院1年生を主体とするが、全学年参加可能)

学生参加条件

- 1)日本の企業・団体への就職を希望する留学生
- 2)日本語能力試験(N2～N1程度)の資格を持ち、報告書作成や実習先でのコミュニケーションなどに支障ない実務的な日本語能力を有する者
- 3)ガイダンスから報告会までのすべてのプログラムに責任を持って参加できる者

実施時期と期間

実施時期: 2023年6月～9月

インターシップ実習期間: 8月～9月上旬: 受入先のプログラムに従う

実習の形式

タイプ1～4 ※3省合意「学生のキャリア形成支援に係る産学協働の取組の四つの類型」を参照

ひょうご留学生インターンシップでは主に、

「タイプ3: 汎用型能力・専門活用型インターンシップ」での実習をお願いします。

※実施基準に準拠するタイプ3インターンシップには、「産学協議会基準準拠マーク」の使用が認められます。



報酬

原則として無給(タイプ4以外)

学生の費用負担

- 1)実習先への通勤費用
- 2)研修会場への交通費用(ガイダンス、交流会、報告会など)
- 3)昼食代
- 4)傷害保険、損害保険料

2023年度 ひょうご留学生インターンシップ 新しい取組

① エントリー方法の変更:「兵庫県インターンシップシステム」を利用

※受入企業の方には、「兵庫県インターンシップシステム」に企業情報を登録して頂きます。
留学生は、「エントリー学生と企業の交流会」参加後、「兵庫県インターンシップシステム」にて、インターンシップ参加希望企業のページにエントリーすることになります。



② マッチングは受入企業が決定

※企業ごとのページにエントリーした学生に対して、企業側にて受入可否を決定し、システム上で結果を入力することでマッチングが決定となります。受入可否の結果は学生と所属大学にシステムを通じて通知されます(コンソによるマッチングは行いません)。受入可の学生と実習日程等の調整を行い、実習を実施してください。

③ 県内企業の留学生向けインターンシップ情報が集約

※今年度よりインターンシップメニューとして、3省合意による4類型(タイプ1~4※)が示されました。
これに伴い、学生はスケジュールが重ならない限り、複数の企業に参加可能とします。 ※参考資料を16ページに記載
※ひょうご留学生インターンシップでは原則として、
これまで実施頂いてきたものと同等の内容:「[就労体験型]」又は「テーマ・就労体験型」、5日~10日間」にて実施頂きたい、と考えておりますが、4類型制定に伴い、学生への機会提供の充実を図るのため他タイプも取り扱ってまいります。

■タイプ1:オープンカンパニー

対象を学部1年次まで広げることが可能。業界や会社に関する広範で基礎的な知識を得られるなど、早期のキャリア教育として学生にとって有意義な学びの場となる。

■タイプ2:キャリア教育

大学が主導する産学連携プログラムとして実施される授業形式のもの、また、企業でCSRとして提供するものも可能。

■タイプ3:汎用的能力・専門活用型インターンシップ ←これまで実施頂いていた実習に最も近いのはこのタイプとなります 就業体験型のインターンシップ。

「学生参加期間の半分以上を職場就業体験とする」「フィードバックを行う」「5日間以上」「インターンシップの情報開示」

■タイプ4:高度専門型インターンシップ

高度な専門性のある学生を対象とした長期インターンシップ。修士以上の学生を対象とした2カ月以上の長期インターンシップを中心に、より高度な専門性のあるポストを求める学生・企業向け。

2023年度 ひょうご留学生インターンシップ 新しい取組

④ 県内企業と留学生・大学の情報交換の場の充実

※兵庫県産業労働部国際局国際課
「外国人留学生採用ワンストップ支援事業」にて実施

- ※**企業と大学のさらなる連携**：インターンシップ参加企業ほか、留学生採用に関心のある企業と大学が会いお互いを知る機会を作る。「**留学生との就活ワークショップ**」などを通して、留学生と企業、大学教職員が関係性を構築し、将来県内で活躍する外国籍社員を**共に育てるつながり**をつくる。
- ※**企業に向けた情報発信**：先進事例紹介、セミナー開催、留学生採用に関する専門家の紹介などを通して、**県内企業の留学生採用力向上**をはかる。
- ※**留学生に向けた情報発信**：先輩社員情報配信、「地元で働こう企業情報サイト」掲載企業の留学生採用情報追加、合同企業説明会、セミナーなどを通して、留学生採用に関心のある県内企業情報を発信する。
- ※**留学生×企業**：「エントリー学生と企業の交流会」、「インターンシップ報告会&留学生×企業情報交換会」
企業×大学：「留学生採用に関心のある企業×大学情報交換会」は**これまで通り開催**。

⑤ 事前・事後研修は全学生向けメニューを活用

※Jasso・兵庫県総務部教育課事業等にて実施

- ※インターンシップ事前・事後研修は実施しないが、別事業で実施する、**日本語講座・マナー講座**ほかへの参加を推奨し、インターンシップ参加に必要な実践力を身につけるプログラムを実施する。
- ※留学生が所属する大学で行われる、インターンシップ参加のためのキャリアセミナーへの参加を推奨。就活に関する基礎知識やビジネスマナー、ビジネス日本語の知識を、インターンシップ生が所属する各校のプログラムに積極的に参加することで補完していただく。

⑥ 事前説明会を複数回実施

- ※「ひょうご留学生インターンシップ」学生向け説明会(オンライン)を、4月～5月に複数回実施。

2023年度 ひょうご留学生インターンシップ スケジュール (受入企業)

募集

5月初旬
5月中～下旬
5月25日(木)

受入企業ご回答、プログラム内容案相談
兵庫県インターンシップシステム企業情報登録準備
学生エントリー締切

エントリー

6月 6日(火)
6月 6日(火)
6月10日(土)

エントリー学生ガイダンス【学生】
兵庫県インターンシップシステムにて企業情報公開
エントリー学生と企業の交流会【学生・企業】

※ご出席をお願いします

受入・参加決定

6月10～23(金)

～ 6月30日(金)

兵庫県インターンシップシステムにて
学生エントリー ⇄ **企業受入可否決定**
※期間中、3段階ほどエントリー設定予定

受入決定学生と実習日程等調整
コンソに連絡、覚書締結

実習

8月～9月上旬

インターンシップ実習実施 (実習日誌、評価票)

実習後

9月16日(土)

インターンシップ報告会、留学生×企業交流会
企業×大学交流会【学生・企業・大学】
事後アンケート

※ご出席をお願いします

留学生関連セミナー等開催

2023年度 ひょうご留学生インターンシップ スケジュール (大学)

募集

4月・5月中旬

4月・5月中旬

～5月中旬

5月25日(木)

広報へのご協力 チラシやメール、ガイダンス等での周知

「学生向けインターンシップ説明会」開催

※学生のエントリーに向けたサポートをお願いいたします

学生エントリー締切

エントリー

6月 6日(火)

6月 6日(火)

6月10日(土)

エントリー学生ガイダンス【学生】

兵庫県インターンシップシステムにて企業情報公開

エントリー学生と企業の交流会

※ご出席をお願いします

受入・参加決定

6月10～23(金)

兵庫県インターンシップシステムにて

学生エントリー ⇄ 企業受入可否決定

※期間中、3段階ほどエントリー設定予定 ※エントリー一覧確認可能

※必要に応じて学生フォローをお願いします

～ 6月30日(金)

受入決定学生-企業 実習日程等調整

※インターンシップ参加学生の保険加入確認

※当該学生に、学内で実施するキャリアセミナー等への参加を案内

実習

8月～9月上旬

インターンシップ実習実施

※必要に応じて学生フォローをお願いします

実習後

9月16日(土)

インターンシップ報告会、留学生×企業交流会

企業×大学交流会【学生・企業・大学】

※ご出席をお願いします

留学生関連セミナー等開催

2023年度から「インターンシップ」が変わります！

参考資料:「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」キャリア形成支援活動4類型

→ 大学生等のキャリア形成支援活動が類型化され、一定の基準を満たしたインターンシップの扱いが見直しとなります

出典:【リーフレット】産学で変えるこれからのインターンシップ
— 学生のキャリア形成支援活動の推進 —



学生のキャリア形成支援活動（4類型） — 特徴の比較 —

以下の表は、学生のキャリア形成支援活動（4類型）の主な特徴を一覧表にまとめたものです。
各タイプの特徴に関するより詳しい内容については、産学協議会2021年度報告書「産学協働による自律的なキャリア形成の推進」の33～45ページをご覧ください。



タイプ3・タイプ4が産学で合意した
これからのインターンシップです。



	類型			
	タイプ1： オープン・カンパニー	タイプ2： キャリア教育	タイプ3： 汎用的能力・専門活用型インターンシップ	タイプ4（試行）： 高度専門型インターンシップ
①目的	個社や業界に関する情報提供・PR	働くことへの理解を深めるための教育	就業体験を通じて、学生にとっては自らの能力の見極め、 企業にとっては学生の評価材料の取得	就業体験を通じて、学生にとっては実践力の 向上、企業にとっては学生の評価材料の取得
②代表的ケース （主に想定されるもの）	企業・就職情報会社や大学キャリア センターが主催するイベント・説明会	●大学等が主導する授業・産学協働プロ グラム（正課・正課外を問わない） ●企業がCSRとして実施するプログラム	企業単独、大学等が企業あるいは地域コンソーシアムと連携 して実施する、適性・汎用的能力ないしは専門性を重視した プログラム	●ジョブ型研究インターンシップ（自然科学分 野の博士課程学生を対象に文科省・経団連が 共同で試行中） ●高度な専門性を重視した修士課程学生向けイ ンターンシップ（仮称）（産学協議会で検討中）
③就業体験	なし	任意	必須 ★(a) 就業体験要件 学生の参加期間の半分を超える日数を職場での就業体験に 充てる （テレワークが常態化している場合は、テレワークも「職場」） ★(b) 指導要件 就業体験では、職場の社員が学生を指導し、インターンシップ 終了後、学生に対しフィードバックを行う	必須
④参加期間 （所要日数）	超短期（単日）	授業・プログラム によって異なる	★(c) 実施期間要件 (i) 汎用的能力活用型は短期（5日間以上） (ii) 専門活用型は長期（2週間以上）	●ジョブ型研究インターンシップ： 長期（2カ月以上） ●高度な専門性を重視した修士課程学生向け インターンシップ（仮称）：検討中
⑤実施時期	時間帯やオンラインの活用等、学業 両立に配慮し、学士・修士・博士課 程の全期間（年次不問）	学士・修士・博士課程の全期間（年次不問）。 但し、企業主催の場合は、時間帯やオン ラインの活用等、学業両立に配慮	★(d) 実施時期要件 学業との両立の観点から、「学部3年・4年ないしは修士1年・ 2年の長期休暇期間（夏休み、冬休み、入試休み・春休み） 但し、大学正課および博士課程は、上記に限定されない	—
⑥取得した学生 情報の採用活動 への活用	不可	不可	採用活動開始以降に限り、可	採用活動開始以降に限り、可

丁寧な情報
発信が大事！

★(e) 情報開示要件：タイプ3の実施にあたり、募集要項等に、以下の項目に関する情報を

- ①プログラムの趣旨（目的）
- ②実施時期・期間、場所、募集人数、
選抜方法、無給／有給等
- ③就業体験の内容（受入れ職場に関する情報を含む）
- ④就業体験を行う際に必要な（求められる）能力
- ⑤インターンシップにおけるフィードバック

記載し、ホームページ等で公表してください。

- ⑥採用活動開始以降に限り、インターンシップを通じて取得
した学生情報を活用する旨（活用内容の記載は任意）
- ⑦当該年度のインターンシップ実施計画（時期・回数・規模等）
- ⑧インターンシップ実施に係る実績概要
（過去2～3年程度）
- ⑨採用選考活動等の実績概要 ※企業による公表のみ